

京都市の目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

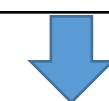


京都市の目指す子ども像 3つの姿

1. 広い視野と豊かな感性を持ち、よりよい人生や社会を創造できる。
2. 様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる。
3. 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる。

自ら学ぶ力

自ら律する力



学校教育目標

「夢に向かってかがやく 笑顔あふれる学校」

～共に学び 認め合い 励まし合い 磨き合える子どもをめざして～

【育てたい資質・能力】

自己指導力の育成（どのような行動が適切か自分で考え、決めて、実行できる力）
意見や立場の違いを理解し、他者から学ぶ柔軟な心（しなやかな心、学び合う力）

めざす子ども像

～友達大好き 松ヶ崎大好き～
と言える子ども
よくかんがえる子
がんばりやり通す子
やさしい子
きたえる子

めざす教職員像

一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
「チーム松ヶ崎」をめざす教職員
自分を高めようとする教職員

めざす学校像

子どもが楽しく登校する学校
教職員が誇りを持てる学校
地域と連携し、子どもを育む学校

知「確かな学力」

めあてを意識した授業の構築
主体的・対話的で深い学びの実現
共に学び、自己有用感の向上

徳「豊かな心」

自己指導力の育成
人権意識の高揚
道徳教育の充実
規範意識の醸成

体「健やかな体」

子どもの命を守り切る
安全教育の充実
健康の保持・増進
体力の向上

家庭や地域と連携、協働した取組の推進